

氏名	玉井 豊 理
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙 第 1279 号
学位授与の日付	昭和57年 3 月 31 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学位論文題目	肝臓シンチグラフィーによる残存肝機能の推定に関する基礎的研究ならびに臨床例についての検討
論文審査委員	教授 長島秀夫 教授 木村郁郎 教授 折田薫三

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

核医学的に肝切除限界の指標を求める目的で有効肝体積を肝シンチグラフィーから測定する独自の方法を考案し、その有用性をスライス phantom, 肝臓 phantom, 動物実験および臨床例で検討し良好な結果を得た。

そこで本法を用いて肝切除の臨床例に対する検討を行なった。術前に¹⁹⁸Auコロイド肝シンチグラフィーを行ない有効肝体積、残存予定肝体積および肝全体のK値、残存予定肝のK値を求めた。全有効肝体積と正常K値に対する残存予定肝体積と同部のK値の比を求め、残存予定肝の機能的予備力の指標とし術後の予後と比較検討した。その結果、同指標が低い値を示す場合は予後不良の傾向がうかがえた。また術後3週間で同検査を行ない肝再生についても検討し、術前全有効肝体積に対する術後肝体積の比と術前K値とだけに関連がある様子がうかがえた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は核医学的に肝切除限界の指標を求める目的で有効肝体積を肝シンチグラフィーから測定する方法を考案し、肝切除術前患者につき残存予定肝機能的体積率を求め、肝切除限界決定の指標としての有用性を明らかにしたもので、この方面の研究で重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。